

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第2号

2006年12月22日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm>

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



幹事合宿大成功！

12月9・10日に行われた合宿には、9名の幹事が講義を持ち寄り学習を行いました。

葉山議長による「労働法制の改悪と実態」の講義は、自らの労働実態を紹介しながら、怒りをこめて労働法制改悪の内容を告発しました。経団連会長の名前を「おてあらい」と読んだりもしましたが・・・

続けて松本副議長は、「豊かさ」と格差社会」をテーマに、病み上がりとは思えない迫力で訴え、幕末の長州藩の青年たちを振り返りながら、「社会の変革は、青年の活躍でなされる」と指摘しました。

田中事務局長は、パワーポイントを使って、「宇宙の進化」を講義。福島幹事をして、「今回の合宿は、宇宙の誕生から現代の労働法制改悪まで網羅した」と言わしめました。H幹事の「マルクス・エンゲルスのゆかりの地を訪ねて」は、手書きスケッチで英独9日間の旅行を追体験することが出来ました。

夕食は刺身の盛り合わせと金目

鯛の鍋に舌鼓を打ち、熱燗のほろ酔いを楽しんだ後は、小田急爭議菊池団長を偲ぶ会のビデオ（山本事務次長編集）を鑑賞し、福島幹事のオフロードレース&鉄道写真体験を拝聴しました。

翌日は、綱領「横三労連のめざす道」を読み合わせ討論し、困難な中でも、「めざす道」を見失わずに頑張る意思統一をしました。

山本事務次長の講義「爭議運動と労働運動」は、20年に及ぶ東電爭議の貴重な体験を体系だてて聞くことが出来、労働運動の意義と労働爭議の大変さを再確認しました。

山本幹事の「朝鮮併合の歴史」は、明治時代の政府の本質に迫る膨大な内容で、講義時間は1時間にも及びました。続く舩崎幹事の講義は、浦賀の歴史散歩で学んだ干鰯（ほしか）の歴史など、興味深い問題提起となり、歴史論議に花が咲きました。今後各単組での学習会の交流につながれば、と思います。

署名4万超える！

横三労連は毎週日曜日に神奈川労連の支援を受けて地域に入り、数百筆の署名を集めました。特に年金者組合は、伊東委員長を先頭に毎週多数の受任者が結集しました。

署名は41,551名に達しましたが、市長と市議会に対し、引き続きはたらきかけていくことが求められます。横三労連では1/8（祝）2時に、Yデッキ宣伝を予定しています。

青年対策会議始動！

メンバー5人は12月13日、最初の会合を開き、横須賀市民九条の会青年の会の現在の取り組みと、川崎労連（11/17青年部結成・50人規模。地域合同労組も60名）、横浜北部地区労（地域ユニオンの大会に26名参加）の活動を出し合い、当面、5・20三笠公園コンサートのバッジ（500円）の販売に協力 組織拡大基金構想の検討を行う、ことを確認しました。